

ランチョンセミナー1

医療教授システム学と医療教授システム

熊本大学大学院 社会文化科学研究科

ファシリテーター：鈴木 克明

このランチョンセミナーでは、本学会のあらゆる点について、参加者の皆さんからの「素朴な疑問」に全力で回答します。教育実践あるいは医療現場でお困りのこと、研究を進めるうえでの疑問点、学会運営のこと、あるいは本学会の今後の方向性など、皆さんから寄せられた問いに正面から向き合い、何ができるか、どう考えていけばよいかを考えます。疑問をお持ちの方、あるいは他の参加者の疑問がどう料理されるかに興味がある方の参加をお待ちしています。参加者からの疑問があまり多く寄せられない場合には、登壇者二人が互いに疑問をぶつけ合う「漫談」になることでしょうか。それも乞うご期待！

ランチオンセミナー 2

IPE (医学・薬学・看護学共同での教育) 実践紹介

東京薬科大学 薬学実務実習教育センター¹⁾、東京医科大学 医学教育学分野²⁾、
東京医科大学病院シミュレーションセンター³⁾
ファシリテーター：別生伸太郎¹⁾、泉 美貴²⁾、阿部 幸恵³⁾

東京医科大学では、本学医学科および看護科と、姉妹校である東京薬科大学の学生とが合同で、多職種連携教育（専門職連携教育 IPE: Interprofessional Education）の授業を行った。医学科1年生120名、看護学科2年生102名、東京薬科大学3年生32名の学生たちは、3グループに分かれて、①同性婚の是非、国家試験廃止の是非、有償代理母の是非、看護師や薬剤師の業務拡大の是非などをテーマにディベート、②模擬患者さんの協力を得てのシミュレーション実習、③アナフィラキシーショック、高血圧症、気管支喘息の3症例で、「医療者間での情報共有の重要性」を共通テーマとしてのディスカッションに取り組みました。それぞれの学びの様様を紹介する。

ランチョンセミナー3

学習インストラクター資格制度

笑顔のおうちクリニック

ファシリテーター：松本 尚浩

第7回 JSISH ランチョンセミナー3 『JSISH 資格制度が目指すもの』で、「医療者教育認定インストラクター」資格制度が示されている [1]。

このセミナーでは、この制度を受け2015年開設された学習インストラクター養成コースの概略[2]を示す。このコースの特徴は、IDに基づく学習支援者技能の習得・実践支援と、個人の嗜好や志向性に基づきのコース受講者の発達・開発に焦点を置いた発達支援である。

参考資料

1.

<http://jsish.hare.co.jp/jsish2015/wpdata/wp-content/uploads/2015/02/09.pdf>

2. <http://www.slideshare.net/matstaro/jsish>

ランチョンセミナー4

看護師としての思考過程を鍛えるシミュレーションの重要性

東京医科大学病院シミュレーションセンター
ファシリテーター：阿部幸恵

看護基礎教育および卒後教育では、近年盛んに技術トレーニング、多重課題トレーニング、急変時の対応トレーニングなどシミュレーション教育が導入されるようになってきた。これらのトレーニングは、学習者の体験を重視していることから、能動的な学習体験という視点から一見効果的かのように考えられているが、臨床での看護の質が上がっているのか疑問であるとの声も、また多い。シミュレーション教育には、段階がある。思考過程をしっかりと鍛えずして、動きだけを訓練しても、臨床の複雑な状況への応用にはならない。行っているシミュレーション教育で看護の思考を鍛えていますか？をテーマに臨床につなげるためのシミュレーション教育を考えていく。